

9 月定例会の あらまし

9月定例会は、1日に召集され、26日までの26日間の会期で開かれました。

報告案件1件、任期満了にともなう教育委員の任命をはじめ人事案件2件、条例改正などの議案9件、補正予算8件、19年度10会計の認定議案が上程され、可決認定しました。

その他、陳情1件を審議し、採択しました。議員提出議案として、意見書の4件が提案され、いずれも可決しました。一般質問では、6人が当面する町政の問題をたどりました。

道の駅「筆柿の里・幸田」

指定管理者決まる

**指定管理者は
幸田「道の駅」
運営連絡協議会**

Q 選定理由は。

A 地元農家で構成された組織であり、地産地消の推進などを考慮した。

Q 役員および出資金は。

A 須美・桐山地区の10人が、出資金700万円で設立した。

Q 事業の内容は。

A 施設の管理運営、朝採り野菜の販売、食堂、収穫イベントなどをおこなう。

(全員賛成で可決)



完成が待たれる道の駅

**水槽付消防
ポンプ車を更新**

取得後15年が経過し、性能が低下してきたこと、NOx・PM法の該当車両のため。

金額 4247万円
納入 平成21年2月27日

Q 積載できる水量は。

A 2000リットルである。

Q 現有車両の処分はどうするか。

A 廃棄処分を予定している。

(全員賛成で可決)

人事案件

固定資産評価審査委員

加藤 高明氏 (須美区)
(全員賛成で同意)

教育委員

鈴木 好巳氏 (永野区)
柴田 早苗氏 (坂崎区)
(全員賛成で同意)



(仮称) 相見駅周辺

補正予算

一般会計

4億円を基金に積立て

一般会計などの補正予算案が上程されいずれも原案どおり可決されました。

Q 固定資産税の償却資産分が増額した理由は。
A 自動車関連企業の好況による。

Q 先導的都市環境形成計画策定は。

A 環境対策を取りまとめた実施プログラムを作るもので(仮称)相見駅周辺地区では、自動車から公共交通(パークアンドライド)への転換や、自然エネルギーを活用したエコまちづくりを計画する。県内では7市町が実施する。

Q 中央小学校の基本構想設計は。

A 体育館、プール、校舎など全体的な構想で学校、地域でも検討する。

Q 郷土資料館の用地測量費は。

A 借地を買取り深溝運動場との一体化を考える。

※先導的都市環境形成促進事業とは
地球環境問題へ対応した省CO₂型の都市の構築を実現するため、地区レベルにおける先導的な環境負荷削減対策を推進する事業。

陳情・議員提出議案

● 陳情

- ・ 学校規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書 (全員賛成で採択)

● 議員提出議案

- ・ 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書の提出 (全員賛成で可決)
- ・ 道路整備予算の確保に関する意見書の提出 (全員賛成で可決)
- ・ 幸田町議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正 (全員賛成で可決)
- ・ 幸田町議会会議規則の一部改正 (全員賛成で可決)

主な追加予算

● 学校建設費

200万円
中央小学校基本構想設計委託料

● 保健体育施設費

511万円
とほね運動場用地(396㎡)購入

● 文化振興費

120万円
郷土資料館測量等委託料

● (仮称)相見駅周辺開発整備事業

1200万円
先導的都市環境形成計画業務委託料

会計別補正予算

・ 一般会計

4億9691万円

・ 老人保健特別会計

913万円

・ 国民健康保険特別会計

3499万円

・ 介護保険特別会計

2445万円